

令和5年度 第1回社会教育委員会会議録

日時 令和5年6月15日（木）9時30分から11時55分

場所 市役所多目的ホール

委員	委員長	谷勝	公代
	副委員長	岡本	教穂
	委員	田中	亨胤
	委員	高瀬	由美
	委員	松尾	弥生
	委員	村上	尚美
	委員	中村	和子
	委員	菅野	裕之
	委員	植田	正吾
事務局	教育長	民輪	恵
	生涯学習課 課長	北島	悦乃
	生涯学習課 課長補佐	高見	和哉

1. 開会（事務局）

2. 社会教育委員長あいさつ（委員長）

皆さん、おはようございます。

今日は、委員全員がご出席ということで、お忙しい中、ありがとうございます。

今、配布資料にある「くすのき」を読ませていただいて、戦争、巨大地震、自然災害など多様な苦しみが起きているなど改めて感じました。

そんな中で、私たちは健康に過ごさせていただいていること、感謝いたします。

また、これからの加西市の社会教育がどういうふうに伸びていくのか、どのように必要とされていくのか、答えを出していかないといけないと思います。

本日も良い方向に会議が進むよう、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

3. 教育長あいさつ（教育長）

皆さんご存知の通り、今日は、私にとって最後の社会教育委員の会議です。選挙の結果を受けて、今後について、私もかなり悩みました。これまでやってきたことを続けたいという思いもありましたし、協力してくれる人たちのためにも、

残った任期をやり切ろうと最初は思いました。

ただ、新市長は、選挙の段階で、これまでの市長と真反対の方針を出されておりましたので、私が残ることによって、頭が二つになり、現場が混乱してやりにくくなるのではないかという思いに至りました。

社会教育においても言えることですが、現場が混乱することは一番よくないことです。私が身を引いた方が、現場は今まで頑張っていることを主張しやすいのではないかと思い、大変苦渋の選択でしたが、退任の決断に至りました。

ただ、この3年間は、大変楽しく仕事をさせていただきました。自分としてはベストを尽くしたと思って満足しております。

私は、民間出身で、初めての女性教育長でしたので、最初は、現場から理解を得られないこともありました。しかし、最終的には、皆さん正面から受けとめてくださって、前向きにやってくれています。

昨日、北条高校の校長先生に挨拶に伺いました。そこで、正式発表されていないことですが、STEAM 学科を作るという話を聞きました。大変なことですが、校長先生が決意すればできないことはないと思います。STEAM という旗を高校が掲げてくだされば、小学校も中学校ももっと STEAM 教育に取り組みやすくなります。

いろいろな欲求が子どもたちの中にありますので、それを伸ばしてあげるようなことをしないといけないです。今、時代が激変しておりますが、20年後、30年後を見据えてやってきたつもりですので、現場の皆さんが信念を持ってやっていただければ、十二分に前へ進んでいくと思っております。

今後、市行政がどうなっていくかは、私の手の届かないところになりますが、在野で声を上げて頑張っていくつもりでおります。少しでも皆さんのお役に立てることはやろうと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

4. 協議事項

(1) 社会教育関係団体の認定について

～事務局より説明～

○教育長

新規で申請をした団体はなかったということですが、それは、申請自体をした団体が全くいなかったということでしょうか。それとも、申請をした団体はいたけれど、認められなかったということでしょうか。

○事務局

申請はありませんでしたが、相談は1件ありました。社会教育関係団体の「一期一笑子育てラボの会」は、当初、子ども食堂の活動で申請をしたいということでお話がありましたが、実績がなかったため、「一期一笑子育てラボの会」で認定されている経緯があります。

今年度は、これらの活動を分けた形で、二つの団体として申請をしたいという

相談がございました。ただ、団体の予算の問題などもあり、話を聞かせていただく中で、もう少し様子を見ることになりました。今年度の途中もしくは、来年度で新たに申請があるかもしれません。

○教育長

この社会教育関係団体は、認定されると施設使用料の免除を受けられるということですね。こういった支援で、団体がより活性化するので、どんどん申請が出てきたら良いなと思います。

○委員 D

古法華保存会は、社会教育関係団体等補助金を受け取られていますが、社会教育関係団体には名前がないですね。

○事務局

社会教育関係団体は、前年度、認定された団体に案内をお送りしており、新規の申請に関しては、相談があった場合のみ対応しております。

古法華保存会は、免除対象の施設をあまり使われないので、申請されていない状況かと思います。

○委員 A

社会教育関係団体は、予算や決算等の資料を市に提出していますよね。社会教育関係団体に入っていない場合は、どうやってそれを把握されているのでしょうか。

○事務局

そこに関しては、それぞれ補助金を出している担当の部署がありますので、そちらに報告をされております。

○委員 C

社会教育関係団体に対して補助金が出るのであれば、社会教育関係団体でない団体に補助金を出すのはおかしいのではないですか。

○事務局

社会教育関係団体等補助金と書かせていただいているのですが、これらは、教育委員会補助金要綱により補助金を交付している団体のうち、社会教育関係のものを抜粋して載せております。社会教育関係団体だから補助金をもらえるのではなく、教育委員会の補助要綱に基づいて交付しています。

○委員 G

私は、過去に総合教育センターの所長をしておりましたので、よくわかるのですが、この補助金を出されている3番から7番、加西市青少年団体連絡協議会、青年連絡会えんどれす、加西市子ども会育成連絡協議会、地区青少年育成会、加西市青少年補導委員連絡協議会は、すべて総合教育センターの中に事務局があります。

ですので、会議は総合教育センターで行うことが多いですし、活動状況や収支等も報告してもらってはいるのですが、確かに、社会教育関係団体に登録してい

てもいいのではないのかと思います。

○委員 B

社会教育関係団体の申請自体は、そんなに大変なことではないと思うので、出していただくようにしてはどうでしょうか。

○事務局

加西市青少年団体連絡協議会や加西市子ども会育成連絡協議会は、既に社会教育関係団体に認定されていますが、認定されていない団体もいくつかありますので、提案いただいたように、声かけをさせていただきたいと思います。

○委員長

補助金 8 番の自治会・地縁団体などと書かれているところについて、申請はどういうふうに出てくるのかなと思いました。

○事務局

これは、社会教育関係団体ということではなく、「歴史文化を活かしたまちづくり活動補助金」になります。指定、未指定に関わらず地域にある歴史文化遺産について、教育委員会生涯学習課で定めた補助金で助成するものです。美化活動や歴史文化を活用するということを一番の目的にしております。

大体は〇〇町文化財保存会などという名前をつけて申請をされています。

○委員長

これは、全体でどれくらいの件数が上がってきておりますか。

○事務局

昨年度は、美化事業に関する補助金が 8 件、活用事業に関する補助金の方が 11 件、合わせて 19 件ありました。

美化事業は、補助金の上限額が一律 5000 円で、掃除道具を購入することなどを目的に申請をされます。活用事業は、団体によって様々な取り組みをされておりますので、40 万円までの規模の事業に対して補助金の上限額は 10 万円とさせていただいております。

○委員長

代表区長会でも補助金のことを周知されているのですか。

○事務局

広報・HP で周知をさせていただいております。また、昨年度に申請があった団体にもご案内をさせていただいております。制度ができた年には、区長会でも説明をさせていただいていたと聞いております。

○委員長

私たちは、当番でお掃除に出ておりますので、身近に関わってくるところだと思います。

ですから、もう少しいい形で皆さんにご説明できたらいいなと思います。以前、消費者団体の活動で、区長さんにアンケートを取ったことがあるのですが、細かい要求がたくさん上がってきました。大きいお金でなくていいので、日々維

持したり、社会貢献をしたりするお金があれば良いのだと思います。

○委員 D

古法華保存会の補助金は、ずっと金額が変わっていないように思うのですが、いかがでしょうか。

また、事業名は、指定文化財保存整備補助事業という名前がついているのですが、これは活用という意味ではないのでしょうか。

○事務局

補助金額は、3年前に今の補助額に上げています。活用ではなく、管理と保存整備のための補助金です。

○委員 D

それでは、事業の内容と金額は合っているということでしょうか。

○事務局

金額は、実績等を見ていきながら要綱で決定しています。また、保存会の要望を毎年1回はお聞きするようにしています。

○委員長

補助金のお話に入ってしまったのですが、先に、社会教育関係団体の認定について、承認をいただいてもよろしいでしょうか。

～承認～

(2) 社会教育関係団体等補助金について

～事務局より説明～

○委員 F

この補助金は、申請すればいただくことができるのでしょうか。

私の勤める学校の隣の山には、古墳群があり、調査されていないものがあるという話が、時々会合などで出てくることがあります。それにはお金がかかるということですので、地域の方が希望されれば、補助金をご紹介したいと思いました。

○事務局

調査とはどのようなものをお考えか、その古墳をどのように活用して、どのように地域に還元したいと考えていらっしゃるのかをお聞かせいただくこととなります。

ただ個人の方がやりたいというだけであれば、少し難しいかもしれませんが、一度お話をお聞かせいただければと思います。

○委員 F

過去に調査されたものには、加西市教育委員会と刻まれているので、もう少し追加で調査をしてくれたらいいのにとという話を何名から聞いたことがあります。要は環境整備をしてほしいということだと思います。

○事務局

小学校や地域と連携しながら地域のためということであれば、また一度内容を聞かせていただければと思います。

○委員長

社会教育関係団体等補助金について、ご承認いただけますでしょうか。
～承認～

5. 報告事項

(1) 令和4年度社会教育活動の実績について

(2) 令和5年度社会教育の取り組みについて

○委員E

生涯学習課のあゆみの女性教育推進事業について、女性研修講座の開催と加西市女性団体連絡会の開催というところにねらいがありますが、女性教育推進事業の大元のねらいはどこかに記載されていますか。

○事務局

特に記載されておりません。

○委員E

女性研修講座の開催のねらいに、家庭教育・生涯教育とあるのですが、家庭という言葉が前へ出ているのですよね。これは、はっきり言って古いです。家庭が前にくると、女性＝家庭を担うと感じて、今の時代に合わないと思いました。

また、加西市女性団体連絡会という団体についてですが、どのような団体で構成されているのでしょうか。

○事務局

加西市連合婦人会、加西市いずみ会、加西市更生保護女性会、加西市商工会議所女性会、加西市交通安全協会婦人部、加西市シニアクラブ連合会の6団体です。

○委員E

やはり、女性教育の本来の目的を考えるなら、男女共同参画との連携が出てくると思うのですが、それがありませんよね。

婦人会の食に特化された活動も良いと思いますが、それだけですかという思いがあります。

○委員長

食に特化しているということではありません。小学校での活動も、小学校からテーマをいただいたうえで、内容を考えて決めさせていただいています。

○委員E

そこも、昨年通りにするようなどころがあるのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

○委員 F

本校は、婦人会の方に2年間お世話になっています。1年目は、体育行事のことをしていただき、2年目は、体育に加えて、料理とお花というテーマでお願いをしました。子どもたちにとって、とてもいい経験になったと思っております。

○委員 E

婦人会の活動が悪いと言っているのではないのです。もう少し、体系づけることができないかなと思うのですよ。

この女性教育推進事業と、ふるさと創造課の男女共同参画が絡んでこないのが、もったいないと感じています。もっと市全体で見ることができれば、税金の無駄遣いも減るのではないかと思います。

もう一点お伝えしたいことは、企画側と参加側を考えたときに、企画側は誰かということです。最近のリーダーには、自分で企画・意思決定したいという動きが出ています。女性教育が、本来目指すところはそこだと思います。何かをやるかということも大切ですが、最終的には、企画側へ回ってほしいと思います。

以上の2点をお伝えしたかったのです。決して、婦人会の活動が悪いと言っているわけではありません。

○委員長

私たちには、私たちの活動がありますので、行政の命令だけを受けて活動してられないです。行政には、新しいグループを作りなさいとよく言っています。

○教育長

実は、私は、女性団体連絡会の会議にほとんど出席させていただいています。最初は、この会議の意味がよく理解できていなかったのですが、昨年度、もっと団体のオリジナリティーを出して活動したらどうかと言ったところ、防災イベントを鶉野飛行場跡地で開催することになり、とても面白いものになりました。

しかし、委員 E がおっしゃるように、なぜこれをやっているかという意識はまだまだ希薄のように思います。皆さん、それぞれの場所で一生懸命活動されている方々ですから、その方々がまとまるだけでも意味はあると思うのですが、新しい人がそこへ入って、新しいビジョンを作ってくれたら本当にいいなと思います。

○委員長

一緒に事業をするには、自分の団体や行政の人たちと、意見を出し合って、企画して、まとめる力をもって入ってほしいと思っていました。

防災イベントを開催したというお話ですが、その準備は、消防署の方や行政の方でされているのです。本当は、それを各団体が自分たちで考えてやっていただきたいのですが、なかなか難しいのですよね。

○教育長

ここ3年間でいろいろと話し合うことにより、随分変わってきたのではないかと思います。それをそれぞれの団体に持ち帰り、そのうえで団体をどうしてい

こうか考えていくところまでは達していないですね。

○委員C

私は、先日、たつの市の女性団体に行くことができました。そこは、47団体が登録されており、若い人も結構来られていました。そこには、コーディネーターが存在しており、常に団体を勧誘したり、繋いだりしているようです。ただ、皆さん団体の長をしていらっしゃる方なので、何か事業をしたときに、その人が実行委員長になった場合、各団体の事業ができなくなることが悩みだったりするようです。

それでも、たくさん若い人がたくさん参画していらっしゃいました。加西市の女性団体連絡会は、新しい団体や小さい団体が入っていらっしゃらないのではないのでしょうか。

○教育長

この団体は、団体名に「女性」とついているので、何とかしなければいけないと思い、毎回会議に出席しておりました。

委員長も大変苦慮していらっしゃると思いますが、この会は維持していただくだけでも、大変な状態です。先ほど、委員Cが言ったように、もう少し組織にフレキシビリティを持たせていくと、変わっていくのだろうと思います。

○委員E

生涯学習課がやっていることと、ふるさと創造課がやっていることを連携するなど、大きな目標がないので、何となくやっているのかなと思います。

○委員長

少し芽が出だして、いい方向へ向いていると思っているのですけどね。

○教育長

大変ですが、新しいビジョンを掲げてやれば、大きな動きが出てくると思います。多様性が出てこない、これからのビジョンを構築できないだろうと思いますので、若い子の意見や新しい意見も聞きながら、常にビジョンを新しく更新できるようにしなければいいと思います。

○委員長

やはり、さっき委員Cがおっしゃったようなコーディネートする人を入れてもらわないと、職員だけでは対応ができないと思います。

○教育長

女性団体連絡会は、私がいるうちに、どうにかしなければいけないと思いながら、そこまで手が回らなかったというのが本音ではあります。

○事務局

ふるさと創造課は、現在、委員Eも委員Cも関わられているので、どこかで繋がりをと思いながらも、なかなかタイミングがありませんでした。委員Eも委員Cも関わられている今が、ちょうどいい時期かとは思いますが。

○委員 D

委員 E がおっしゃった、生涯学習課のあゆみの講座開催の目的を見て、女性はすごく下に見られていると感じました。高い教育を受けている女性、大活躍している女性もたくさんいますが、まだまだ埋もれている女性の力を、私たちが活かせてないと感じました。

STEAM ラボに機器が入っているということですので、STEAM 教育と女性研修を繋げることができると、埋もれている女性の力を発掘しやすいのかなと思いました。

○委員 C

生涯学習課のあゆみについて、青少年と高齢者に関する事業が抜けているので、追加していただきたいです。女性教育推進事業があっても、青少年と高齢者事業がないのはどうかと思いますので、よろしくお願いします。

○委員 A

スマート図書館について、これは加西市の図書館のみが対象ですか。

○事務局

基本的にはそうです。北播磨域内であれば、貸し借りすることも可能です。

○委員 A

岡山県の場合、各公民館が県立の大型図書館と繋がっていて、遠くまで移動せずに本を貸し借りすることができます。今後、加西市は、どうされるのでしょうかわかりませんが、せっかくやっておられるので、もう少し範囲を広げてもいいのではないかなと思います。

○教育長

例えば、農業に関しても、もっと専門的な本が借りたいのに市の図書館にはないというような声は耳にします。そういった本は大きい施設に揃えてありますので、いい発想だと思います。

○委員 A

公民館は住民の命を守る拠点であるとする、耐震工事などの事業展開の優先順位はどうなのでしょう。

○教育長

北部公民館は、老朽化のため、建て替えという話は出ていますが、現状何とも明言できないところです。

○委員 A

パラダイムという思想があります。いろいろと展開されている事業それぞれに意味があるのですが、パラダイム思想的に、社会教育・生涯学習をある程度整理されると、ピンポイントの活動も位置付けられ、これからの方向性・あり方が出てくると思います。

○委員 B

オークタウン加西のキャンプ場について、夜は使えないというのは、どうなのかなと思います。キャンプ場なので、トイレを修理するだけではなく、何とか夜の宿泊ができる施設になってほしいと思います。

○事務局

今の館長はいろいろなアイデアも持たれている方で、ここには書いてないのですが、生涯学習課と館長で何度か協議をしております。

現状、オークタウン加西は、土砂災害警戒区域であること、夜はシルバーへの依頼が必要なことなどから、今は使用時間を限定させていただいています。

今後に向け、前向きに協議を続けたいと思います。

○教育長

この間、初めて古法華に行きましたが、素晴らしかったです。これはもう少し大きなテーマですが、その方向で考えたらいいと思います。

6. その他連絡事項

～事務局より説明～

○事務局

今後についてですが、7月21日をもちまして一旦、任期は終了ということになります。7月22日以降は、委員Cに委員長を、委員Bに副委員長をお願いすることで、決定をしております。委員の皆様におかれましても、次の2年間も是非お願いしたいと考えております。

また、10年以上委員を続けてくださっている方も多くいらっしゃいますので、次の2年間は、委員の構成を考えていく期間になると感じております。

○委員 D

この場をお借りして、教育長にお礼を申し上げたいと思います。私も社会教育委員になってから、10年近く経ちますが、会議の最初から最後までいただく教育長は初めてでした。

意見の一つずつを真正面から受けとめてくださり、生涯学習課の透明性を上げてくださったと思います。また、抜群のリーダーシップとアイデアで引っ張ってくださり、この会議の意義がより高まったと思っています。ありがとうございました。

○教育長

ありがとうございます。言いつ放しと言うのは、よくないと思っているので、これからも在野で頑張りたいと思います。また何かあった時はお声掛けしますので、ぜひよろしく願いいたします。

○事務局

長くなりましたが、本日も大変貴重なご意見を、具体的にご指摘・ご指導いた

だき、ありがとうございました。

一つ一つ進めて、また、変えていくべきところは、変えていくようにしたいと思います。ありがとうございました。

7. 閉会

○副委員長

先ほど委員Dがおっしゃったとおり、教育長が本当にいろいろなアイデアを私たちにご教示いただいて、この委員会もすごく活性化したと思います。

すでに令和5年度の事業計画に入っています。皆さんお忙しいかと思いますが、本年度もよろしく願いを申し上げます。

どうもありがとうございました。